

平成26年（ネ）第126号 大飯原発3, 4号機運転差止請求控訴事件
 一審原告 松田正 外186名
 一審被告 関西電力株式会社

証拠説明書
 -使用済み核燃料について-

平成27年11月 日

名古屋高等裁判所金沢支部民事部第1部C1係 御中

一審原告ら訴訟代理人弁護士 佐藤辰弥

号証	標目 (原本・写しの別)	作成 年月日	作成者	立証趣旨	備考	
甲221	シビアアクシデ ントの脅威 (抄本)	写 し	2012.1 2.1	館野淳	使用済み核燃料ひいては軽水 炉技術が「放射能と熱」という 二つの高いリスクを抱えてい ること	
甲222	福島第一原子力 発電所事故から の教訓	写 し	2011.5. 9	一般社団 法人日本 原子力学 会「原子 力安全」調 査専門委 員会 技術 分析分科 会	日本原子力学会が,福島原発事 故の教訓のうち使用済み核燃 料プール冷却に対する教訓と して,使用済み核燃料プールの 冷却に失敗したことと,建屋が 破損した後の使用済み核燃料 プールの閉じ込めに課題があ ることを挙げていること(9p) 日本原子力学会が,福島原発事 故の教訓に照らし,上記消防ポ ンプによる直接注水に加え,電 源が無くても崩壊熱の除去を 可能とする,使用済み核燃料プ ールの自然循環冷却システム の導入と,空冷の中間貯蔵設備 の導入を提言していること(同)	http://w ww.aesj. or.jp/in formatio n/fnpp20 1103/cho usacom/g b/gbcom_ kyokun20 110509.p df

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作 成 者	立 証 趣 旨	備 考	
甲 2 2 3	浜岡原子力発電所4号炉 外部からの衝撃による損傷の防止（竜巻） （抄本：表紙，34頁，添付1-11）	写し	H27.1.30	中部電力株式会社	BWRである浜岡原発4号機の竜巻影響評価においては、本件原発と同様、100m/sの竜巻が襲来した場合の影響評価がなされているところ、使用済み核燃料プールは、外殻となる原子炉建屋の防護機能により竜巻の影響を受けないこととされていること	https://www.nsr.go.jp/data/000097085.pdf
甲 2 2 4	柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 重大事故対策の有効性評価について （抄本：表紙，4-1-10）	写し	H27.3	東京電力株式会社	BWRである柏崎刈羽原発6号機及び7号機における消防ポンプによる注水開始に要する時間は約12時間とされていること	http://www.tepco.co.jp/solution/power_equipment/nuclear_power/pdf/nuclear_power_150317_02.pdf
甲 2 2 5	新大綱策定会議（第15回）議事録	写し	H24.3.13	原子力委員会 新大綱策定会議	米国では、福島原発事故後、福島原発事故から得た教訓として、使用済み核燃料プールについて、状況が悪化した場合にはどうなるかわからないことを再認識し、かかる教訓に照らした措置として、ドライキャスク（乾式貯蔵）への移行を進めていること	http://www.aec.go.jp/jicst/NC/tyoki/sakutei/siryosakutei17/siryoo5.pdf
甲 2 2 6	福島第二原子力発電所からのお知らせ（平成26年6月号）	写し	H26.6	東京電力株式会社	国内においても、福島原発事故を受け、原子炉から取り出した使用済み核燃料を市松模様にして使用済み核燃料ラックに配置する運用が実施されていること	http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/handouts/j140624a-j.pdf

号 証	標 目 (原本・写しの別)		作 成 年月日	作 成 者	立 証 趣 旨	備 考
甲 2 2 7	新聞記事	写 し	H24.3. 8	朝日新聞 社	4号機プールの核燃料棒損傷 が回避されたのは、結局のと ころ、震災直前の工事の不手 際と、意図しない仕切り壁の ずれという、いわば二重の偶 然によって回避されたもので あること	